

センターだよりー林檎ー

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

平成30年 1月発行



八戸サテライトスペース開講面接授業「是川遺跡から学ぶ考古学」の縄文土器作り実習（平成 29 年 12 月 2 日撮影）

特集 秋の行事・冬の試験、そして来春の備え 講演会・学生活動 / 29-2 単位認定試験 / 30-1 面接授業

- 2 | 巻頭言「わかったつもりから離れる」
- 3 | 客員教員公開講演会レポート
「夏目漱石の不思議なまなざし
ー漱石文学へのアプローチ」
「土づくりの基礎 ー土壌微生物の働きと
有機物の役割についてー」
- 4 | 平成29年度第2学期単位認定試験のご案内
- 6 | 平成30年度第1学期面接授業について
- 8 | 講演会レポート
「在宅医療推進市民公開フォーラムin青森」
- 9 | 深まる親睦、深まる秋 ～学生行事レポート
同窓会「八戸屋形船ツアー」
学友会「蕎麦打ち体験学習」
- 10 | 次学期へむけての手続き
- 11 | 1・2・3・4月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



放送大学青森学習センターホームページのQRコードができました。
一歩一歩、黒を白に

明けましておめでとうございます。青森学習センターホームページのQRコードができました。

巻頭言

—かんとうげん—

わかったつもりから離れる

青森学習センター客員教員 仁平 政人



客員教員として青森学習センターに勤めはじめてから、一年半ほどになる。私の担当する近現代文学のゼミナールは、短い小説を毎週一編ずつ読み、自由に意見を交わす形式で、参加者の方々の鋭い意見に、私の方が「なるほど!」と気づかなかったことを教えていただくことも多い。

今年のテキストは、太宰治の『お伽草紙』(新潮文庫)。太宰治というと、一般には「暗い」・「破滅型」・「自意識過剰」…といったイメージが強いかもしれない。そうした側面があるということは否定しないが、私見では、作家・太宰の特性は、①読者に語り掛けて作品世界に巻き込む語りや、②斬新な小説スタイルを多様に生み出した実験性、そして、③豊かな知性とユーモアを持つパロディの名手といった面にある。『お伽草紙』は③の方面を代表する翻案・パロディ作品集で、原作と比較しながら読むと、元の作品をいじる太宰の発想につづく感嘆させられ、また随所で笑いをもたらされる。

それにしても、太宰の小説をゼミで読んでいて気づかされるのは、パロディ作家としての彼が、一般の読者であれば容易に読み流すようなところに立ち止まり、考えをめぐらすような精読者であったということだ。

例えば、子どもに昔話を読み聞かせながら、「カチカチ山」の狸に対する兎の仕打ちがひどすぎることに悩み、また「浦島さん」で乙姫が浦島太郎に玉手箱を渡した理由について「どうも、わからぬ」と考えこむ。そしてそこから、実に鮮やかな理解＝自らの「物語」を生み出してみせる(気になる方は、ぜひ「お伽草紙」をお読みいただきたい)。

そして、このような「立ち止まる」姿勢を、太宰は本だけではなく、現実に対しても向けていたのではないかと思う——人間の生活が「わからない」という男の視点を通して、常識に対して痛烈な問いを投げかける小説『人間失格』にも示されるように。

一見当たり前の事柄に対してわかったつもりになることなく、そこに疑いの目を向けることにより、新たな認識や表現を生み出すこと。それは太宰だけに限らず、実は近現代の文学に広く通底する性格なのだと思えることができる。

だからこそ、優れた文学作品は百年前のものであっても新鮮な驚きを読者にもたらし得るし、それを読み解くことは、その時代を新たな角度で理解し、また今日の私たちの認識を深く問い直すことにもつながる。文学を学ぶことの意義は、何よりもそうした点にあると考えられるのである。

仁平先生編著の書籍が青森学習センター図書室にて配架中です。ご興味のある方はぜひご利用ください。
「寺山修司という疑問符」 郡 千寿子・仁平 政人 編(弘前大学出版会、ISBN=9784907192167、資料ID=11118994109、ラベルNo.910.2/Te.67)

●●● 客員教員公開講演会レポート ●●●

2017年秋の青森学習センターでは、公開講演会が目白押しでした。うち、ゼミや学習相談でおなじみの客員教員の先生方による公開講演会が、10月・11月の2か月連続で開催されました。このページでは、聴講した倉又所長によるまとめにて講演会の要旨をお伝えします。

この講演をきっかけに放送大学に関心を持った方、または両先生の専門分野をもっと知りたいと思った方は、ぜひ放送大学の入学や客員教員ゼミへの参加をご検討ください！

10/28 (土)

「夏目漱石の不思議なまなざしー漱石文学へのアプローチ」

講師：仁平 政人 氏（弘前大学教育学部講師・放送大学客員准教授）／放送大学青森学習センター講義室



講演中の仁平先生。夏目漱石については、H28年度の客員教員ゼミでもテーマにされていました。



熱心に聞き入る受講者の皆さん。

夏目漱石は「文学論」などを著した英文学の研究者として一流であったが、気晴らしに書いた「吾輩は猫である」をきっかけに、文学作品を書き始め、大学教授から朝日新聞専属の作家になった。その結果、新作が出るたびに皆が競って購入する人気作家になった。

しかし、ただその時の人気作家にとどまらず、現在まで読み続けられている日本を代表する作家になった。

作品「吾輩は猫である」で猫の視点がいつのまにか、猫を写生している苦沙弥先生の背後にまわったりする自在さや、「永日小品」中の「暖かい夢」の中で、ロンドンの街をみる作者の視点の自由な変化などを通じて、漱石の「不思議なまなざし」を挙げ、漱石文学の面白さを示してくれた。



公開講演会の告知ポスター。この講演会は、弘前大学総合文化祭の期間中に開催されました。

11/26 (日)

「土づくりの基礎ー土壤微生物の働きと有機物の役割についてー」

講師：青山 正和 氏（弘前大学農学生命科学部教授・放送大学客員教授）／つがる市立図書館 セミナー・学習室



公開講演会の告知ポスター。この講演会は、放送大学青森学習センターとつがる市立図書館のコラボ企画として実現しました。

植物を育成させるための「土づくりの基礎」という講演が、弘前大学農学生命科学部教授、放送大学青森学習センター客員教授の青山正和先生によって、つがる市立図書館とのコラボで、同図書館セミナー・学習室で行われた。

青山先生が世界中で撮影した、多様な色の土壌の紹介から始めて、土は単に岩石が風化して細かくなったのではなく、有用な土壌となるために、土壤微生物の役割の重要性が強調された。そして、土壤微生物が活発に活動するためには、有機物が必要であることが示された。土壤微生物が働くと、植物の落ち葉など(有機物)→土壤微生物→植物の育成→落ち葉、というサイクルが生まれる。

つがる市立図書館はミッションの第一に「農業支援」があげられており、講演会に農業関係者もこられており、有効な土壌を維持していく方法についての質問もあった。



講演中の青山先生。土や微生物については、客員教員ゼミでも取り上げています。



会場には、土づくりに関心のある皆さんが集まりました。

講演で青山先生が取り上げた書籍が青森学習センター図書室にて配架中です。ご興味のある方はぜひご利用ください。
「土と内臓：微生物がつくる世界」 テイビッド・モントゴメリー著（築地書館、ISBN=9784806715245、資料ID=11119131803、ラベルNO.=465/Ts29)

平成29年度第2学期 単位認定試験のご案内

放送授業を科目登録し、通信指導に合格した方は単位認定試験を受験することができます。試験日の約1週間前までに大学本部から送付される「**単位認定試験通知(受験票)**」と、受験票に同封される「**単位認定試験受験に際しての注意事項**」を必ず確認してください。

試験日時・試験会場

- 夏季集中型(看護)再試験…1月19日(金)
 - 大学院…1月19日(金)・1月20日(土)
 - 教養学部…1月21日(日)～1月28日(日)
- ※1/22(月)・1/26(金)・1/29(月)・1/30(火)は閉所日です。

●青森学習センター

- ・夏季集中型(看護)再試験：青森学習センター講義室
- ・大学院：青森学習センター講義室
- ・教養学部：コラボ弘大8階八甲田ホール
青森学習センター講義室(注)
(〒036-8561 青森県弘前市文京町3
コラボ弘大内)

●八戸サテライトスペース

- ・夏季集中(看護)再試験：ユートリー4階研修室
- ・大学院：ユートリー4階研修室
- ・教養学部：ユートリー5階視聴覚室
ユートリー4階伝統工芸室(注)
(〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22
八戸地域地場産業振興センター(ユートリー)内)

(注) 1/21(日)・1/27(土)のリスニング科目試験会場

-試験時間割-

時限	時間
1時限	9:15～10:05
2時限	10:25～11:15
3時限	11:35～12:25
昼休憩	
4時限	13:15～14:05
5時限	14:25～15:15
6時限	15:35～16:25
7時限	16:45～17:35
8時限	17:55～18:45

※試験開始10分前までに入室してください。
※遅刻は試験開始後20分まで認めますが、試験時間の延長は認めません。

座席

座席はすべて科目ごとの指定となります。

- ・試験会場入口に「座席表」が掲示されています。受験する科目に該当する座席番号を確認してください。
- ・試験室の机には番号が貼られていますので、確認した番号の範囲で空いている席に着いてください。
- ・新規登録科目と再試験科目の試験時限が重なった場合は、どちらか1科目を選択し、該当科目の席に着いてください。

受験の際に必要なもの

- ① **単位認定試験通知(受験票)**
1月12日(金)になっても受験票が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部に連絡してください。
(電話:043-276-5111 (総合受付))
- ② **学生証**
学生証の受け取りがまだの方、または有効期限切れの方は、右記をご参照ください。
- ③ **持込み許可物品(科目により異なります。)**
受験票に同封されている「単位認定試験時間割」で確認してください。
また、各科目の解答形式(択一式・記述式・両者併用式)も記載されていますので、あわせて確認してください。
※試験の約1ヶ月前から学習センター・サテライトスペース掲示板やキャンパスネットワークホームページでも確認できます。
- ④ **筆記用具**
筆記用具はHBの黒鉛筆を使用してください。



学生証の受け取りはお済みですか？

学生証は、単位認定試験受験時に受験票とともに必ず机上に提示していただきますので、**試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて受け取りを済ませてください。**

受け取る際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在学学生で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録をお願いします。

結果

2月下旬に大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験

今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、**次の学期に学籍がある場合に限り（休学中を除く）、科目登録をしなくても再試験を受験できます。（再試験に係る授業料等はありません。）**

今学期で在学期間が終了する方は、出願期間に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください。

（この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります。）

ただし、再試験科目と同じ試験時間に新規科目を登録すると、どちらか1科目しか受験できません。

試験期間中には、下記施設を自習室として開放します。利用にあたっては、下記注意事項と当日の掲示物を必ず確認してください。

●青森学習センター

青森学習センター講義室 1月21日(日)～1月28日(日)の9:00～18:00

(※1/22・1/26を除く)

※試験対応のため利用できない場合があります。その場合は、当日の掲示物にてお知らせしますので、視聴学習室またはコラボ弘大1階の自習スペースをご利用ください。

●八戸サテライトスペース

ユートリー5階異業種交流室 1月19日(金)～1月28日(日)の9:00～18:00

(※1/22・1/26を除く)

【自習室利用時の注意事項（青森・八戸共通）】 ※厳守願います。

- ①自習室の定員には限りがあるため、ご利用は先着順とします。
- ②退室する際は、忘れ物のないようご注意ください。
- ③自習室での私語は一切禁止します。

自習室について

●単位認定試験期間中は、図書室・視聴学習室の開所時間が変更になりますので、ご注意ください。

・青森学習センター 9:00～19:00

・八戸サテライトスペース 9:00～18:45

- カンニング、身代わり受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、失格および懲戒の対象となります。また、故意ではなくとも持ち込みが認められていない印刷教材等を参照することは不正行為として取り扱われますので、十分注意してください。
- 天災、交通機関の事故、大雪・凍結等による交通機関のまひ、その他受験生の責任に帰さないやむを得ない事態等(ただし、自家用車等使用時の事故等は除く)により、受験に支障が生じた場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。
- 試験問題を持ち帰ることはできません。

その他注意事項

●青森学習センター

単位認定試験の際は、公共交通機関をご利用ください。

やむを得ない事情により自動車でお越しの際は、満車により駐車できない場合がある旨をあらかじめご了承ください。

●八戸サテライトスペース

ユートリー立体駐車場を3時間以上ご利用の場合は、当日限り有効で500円に割引となる「イベント券」を発行しますので、事務室窓口にお申し出ください。

駐車場

平成30年度第1学期 面接授業について

面接授業とは

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- 1科目1単位で、授業料は5,500円。（放送授業は1科目2単位）
- 1時間25分・全8回の授業を受講し、出席状況及び学習状況が良好な場合に単位が与えられます。
- 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要がありますが、選科履修生・科目履修生も履修が可能です。



在学生の科目登録

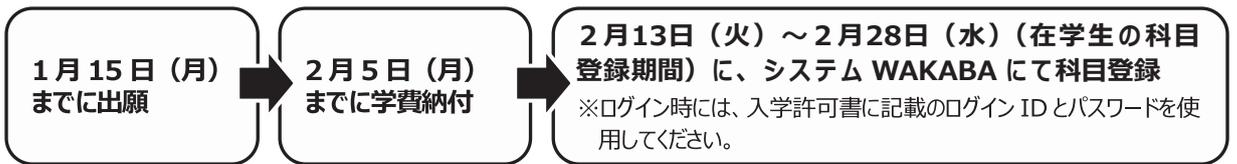
在学生の方は、下記の期間に放送授業とともに科目登録申請を行ってください。
なお、在学生には平成30年1月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。

- 「科目登録申請票」による申請期間…2月13日（火）～2月27日（火）**大学本部必着**
- システム WAKABA による申請期間…2月13日（火）9:00～2月28日（水）24:00

入学学期当初からの科目登録

入学学期当初から面接授業の登録申請をする場合は、下記の手続きにて申請できます。
全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、下記のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「学生募集要項」にてご確認ください。

- ① 新規入学生
- ② 過去に放送大学を卒業または在籍したことがあるが、平成29年度第2学期に学籍のない方



- ③ 継続入学生（平成29年度第2学期に学籍があり、継続して入学される方）



トピック★

次学期も開講！地域色豊かなセンター外面接授業

第1学期開講科目の中から、注目の授業をご紹介します。いずれも野外活動をとめない、地域の自然や歴史・文化に直接触れられることから、毎回人気を博しています。詳細は、1月中旬に届く面接授業時間割表をご覧ください。

青森



「白神学－白神の動物と植物」 7/7（土）・7/8（日）

（講師：石川幸男 先生 他2名）
弘前大学白神自然観察園（7日3時限以降）
（7日2時限まで青森学習センター）

白神山地で自然観察し、生態系の成り立ちや仕組み、生物多様性の実情などを学びます。7日は全員現地に宿泊。

青森



「発掘が語る縄文文化」 6/16（土）・6/17（日）

（講師：小笠原雅行 先生）
三内丸山遺跡縄文時遊館・さんまるミュージアム

三内丸山遺跡を見学しながら、縄文時代の暮らしや技術、精神文化などを学びます。

八戸



「環境と生物－種差海岸で考える」 6/16（土）・6/17（日）

（講師：田中義幸 先生）
三陸復興国立公園 種差海岸インフォメーションセンター内レクチャールーム

種差海岸で実際に自然観察し、生物と環境の関係性を学びます。採集した海藻の標本作成あり。

青森学習センター・八戸サテライトスペース開講科目一覧

青森学習センター

科目区分	科目コード	クラスコード	科目名(担当講師)	会場	第1回目の日程	定員
基盤科目	2489406	K	学術情報の検索と管理 (三輪 眞木子 先生)	青森学習センター	5月26日(土) 1～4時限 5月27日(日) 1～4時限	20
基盤科目: 外国語	2489414	K	英語の絵本の世界へようこそ (サワダ ハンナ ジョイ 先生)	青森学習センター	6月 2日(土) 1～4時限 6月 3日(日) 1～4時限	40
導入科目: 自然と環境	2489422	K	色々な噴火-減災の基礎知識- (北村 繁 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	6月23日(土) 1～4時限 6月24日(日) 1～4時限	40
専門科目: 生活と福祉	2489430	K	精神に障がいを抱える人の看護 (菅原 大輔 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	4月14日(土) 1～4時限 4月15日(日) 1～4時限	40
専門科目: 心理と教育	2489449	K	対人行動の心理学 (田名場 忍 先生)	青森学習センター	5月19日(土) 1～4時限 5月20日(日) 1～4時限	40
	2500949	K	心理学実験1 (吉中 淳 先生)	青森学習センター	6月 9日(土) 1～4時限 6月10日(日) 1～4時限	20
専門科目: 社会と産業	2489457	K	農業の諸問題と可能性について (泉谷 眞美 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	5月12日(土) 1～4時限 5月13日(日) 1～4時限	40
専門科目: 人間と文化	2489465	K	ヨーロッパとは何か:歴史と理念 (中村 武司 先生)	青森学習センター	4月21日(土) 1～4時限 4月22日(日) 1～4時限	40
	2489473	K	発掘が語る縄文文化 (小笠原 雅行 先生)	三内丸山遺跡縄文時遊館・ さんまるミュージアム	6月16日(土) 1～4時限 6月17日(日) 1～4時限	35
専門科目: 自然と環境	2489481	K	核物理学の初歩と今日の核問題 (松井 哲男 先生)	青森学習センター	6月30日(土) 1～4時限 7月 1日(日) 1～4時限	40
	2489490	K	白神学-白神の動物と植物 (石川幸男先生・中村剛之先生・山岸洋真先生)	弘前大学白神自然観察園 (7/7の3時限目から。7/7の2時限までは 青森学習センター)	7月 7日(土) 1～4時限 7月 8日(日) 1～4時限	30

八戸サテライトスペース

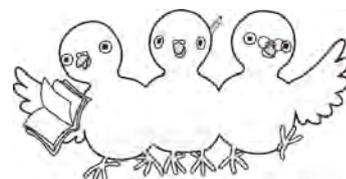
科目区分	科目コード	クラスコード	科目名(担当講師)	会場	第1回目の日程	定員
基盤科目	2489503	Q	人の一生の法律学 (高須 則行 先生)	ユートリー5階 視聴覚室	7月 7日(土) 1～4時限 7月 8日(日) 1～4時限	40
専門科目: 生活と福祉	2489511	Q	精神保健医療と援助の基礎 (木村 緑 先生)	ユートリー5階 視聴覚室	5月19日(土) 1～4時限 5月20日(日) 1～4時限	40
	2489520	Q	地域福祉の基礎 (小柳 達也 先生)	ユートリー5階 視聴覚室	7月14日(土) 1～4時限 7月15日(日) 1～4時限	40
専門科目: 心理と教育	2489538	Q	生涯発達臨床心理学 (小林 真理子 先生)	ユートリー5階 視聴覚室	5月26日(土) 1～4時限 5月27日(日) 1～4時限	40
専門科目: 社会と産業	2489554	Q	リモートセンシング技術と社会 (佐々木 崇徳 先生)	ユートリー5階 視聴覚室	6月 2日(土) 1～4時限 6月 3日(日) 1～4時限	40
	2489562	Q	防振技術と振動の利用 (太田 勝 先生)	ユートリー5階 視聴覚室	6月23日(土) 1～4時限 6月24日(日) 1～4時限	40
専門科目: 自然と環境	2489570	Q	環境と生物-種差海岸で考える- (田中 義幸 先生)	三陸復興国立公園 種差海岸インフォメーションセンター内 レクチャールーム	6月16日(土) 1～4時限 6月17日(日) 1～4時限	20

追加 登録 申請 科目

科目登録決定後に、さらに定員に余裕がある科目については、**追加科目登録**を受け付けます。科目登録申請期間中に登録できなかった方や、学期途中で履修科目を追加したい方は、ぜひご利用ください。

詳細は、3月中旬～下旬に案内チラシ送付にてお知らせします。

- 空席状況発表日…4月14日(土) 12:00
- 事前申請期間…4月14日(土)～4月19日(木)
- 先着申請期間…4月20日(金)～各科目の受付期限まで



講演会 レポート

「在宅医療推進市民公開フォーラム in 青森」

11月5日(日)、青森市新町キューブにて、青森学習センター主催「在宅医療推進市民公開フォーラム in 青森」を開催しました。医療・福祉・介護関係者はもちろん、一般市民にも関心の高い在宅医療についてじっくり考える機会となったこのフォーラムの要旨を、倉又所長のまとめにてお伝えします。



開催告知ポスター

「在宅医療推進市民公開フォーラム in 青森」を、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団からのサポートにより、青森市の新町キューブ会議室で開催した。

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長三浦久幸先生が「在宅医療の連携支援」、放送大学教授田城孝雄先生が「在宅医療と地域包括ケアシステム」を講演し、弘前市医師会理事石澤誠先生に「地域の实情について」コメントをしていただいた。

在宅医療については、医療費削減を目的として、そのしわ寄せが家庭に押し付けられそうな印象を持つ一方、最期を自分の家で迎えたい人も多いことも聞いている。3人の方からのお話を聞き、いろいろな体制が整備されていることがわかった。

「暮らし慣れた生活の場や人々の中で、療養を続けることができる」体制のためには、在宅医療の充実や地域包括支援センターの構築、ケアマネージャーとの連携など、全体として有機的に機能する必要がある。地域的な差はあるようだが、その方向に向かって整備されつつある。

在宅医療はどんな具合に進むのか、どんな人たちが協力していくのかなどの地域包括システムのイメージを持つには、会場でも映写されたビデオ「その人らしく生きるを支える ～多職種協働と連携が拓く在宅医療・ケアの未来～」が、参考になる。

最後の質疑応答で、老いて夫婦二人で生活しているが、相手が倒れて介護の必要が出てきても、自分としてはどうしたらよいか全くわからない、という発言があり、それに対して、その時はぜひお近くの地域包括支援センターに相談するように、といった回答が参加者や講演者からあった。

40名にまでは届かなかった参加者で、多くを学べた機会であったが、もっと大勢の人に聞いてもらいたかった貴重な機会であった。



倉又所長の開会挨拶でフォーラムが始まりました。



愛知県にある国立長寿医療研究センターの三浦久幸先生。



会場には医療・福祉関係者をはじめ、在宅医療に関心のある皆さんが集まりました。



放送大学では「公衆衛生(15)」ほかをご担当の田城孝雄先生。



地域の实情を語る弘前市医師会理事の石澤誠先生。

—「在宅医療推進市民公開フォーラム in 青森」開催プログラム—

13:00	開場	14:50	講演② 在宅医療と地域包括ケアシステム (講師：放送大学教授 田城 孝雄 先生)
13:30	開会の挨拶 (放送大学青森学習センター 所長 倉又 秀一)	15:30	コメント 地域の实情について (コメンテーター： 弘前市医師会理事 石澤 誠 先生)
13:40	講演① 在宅医療の連携支援 (講師：国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部長 三浦 久幸 先生)	15:45	質疑応答
14:40	休憩	16:00	閉会

このフォーラムで上映されたビデオ「その人らしく生きるを支える ～多職種協働と連携が拓く在宅医療・ケアの未来～」は、国立長寿医療研究センター在宅連携医療部のWEBサイトにてご覧いただけます。

URL http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/suisin/jinzaiikusei/h25/video_kyozai1022.html

夜の海と
工場夜景！

深まる親睦、深まる秋 ～学生行事レポート

今年の蕎麦の
出来はどう？



学生団体の行事が活発に行われた2017年秋。10月には同窓会主催「八戸屋形船ツアー」、11月には学友会主催「蕎麦打ち体験学習」と、それぞれに特色ある行事が催されました。

参加された学生方においては、秋の深まりに合わせるように親睦も深まったのではないのでしょうか。

この記事を読んだ皆さん、次回のご参加をお待ちしています！



10/15 (日) 同窓会主催 八戸屋形船ツアー

—八戸酒造男山工場前集合・乗船2時間の夜景クルーズ—



鮮やかな漁火が目を惹きます。

10月15日、八戸にて同窓会主催の「八戸屋形船ツアー」が開かれました。

当日は、ミステリーサークル主催の文化祭の後ということもあり、同窓生・在学生をはじめ、倉又所長、土岐事務長にもご参加をいただき、夜の八戸港を屋形船に乗りながら2時間かけて巡りました。

参加者は、夜の6時半に八戸の湊川口（八戸酒造男山工場前）に集合し、7時に屋形船へ乗り込み出発。

10月ということもあり、八戸を代表する蕪島の「うみねこ」にはあまり出会えませんでした。港に停泊しているさまざまな漁船や船舶を見ながら八戸港の港内を進み、臨海部の工場地帯へ。今話題の八戸工場夜景も見ることができました。

ツアーは大いに盛り上がり、参加者はもちろん、残念ながら今回参加できなかった同窓生や学生からも再度実施してほしいという声が寄せられておりますので、今後も企画を検討していきたいと考えております。

(放送大学青森同窓会会長 関川 宏明)



料理を囲み、夜景を楽しみます。

11/5 (日) 学友会主催 蕎麦打ち体験学習

—弘前文化センター3階調理室・新蕎麦の季節の恒例行事—

11月5日、学友会恒例行事の蕎麦打ち体験学習が行われました。

学友会会員の荒川隆一さん指導の下、グループに分かれて蕎麦打ちが始まりました。皆和気藹々ながらも蕎麦を打つときは真剣です。

そして、それぞれの出来上がった麺を茹でてみると微妙に硬さや食感等、作り手によって出来上がりが違うことが分かります。見た目も様々で長いのが短いのがあり、中にはきしめん風もありましたが、食べてみるとコシがあつてどれも美味しかったです。

又、趣味の釣りで採れた魚を毎年提供してくれる方もおり、珍しい小鯛やメゴチ等の揚げた天ぷら付きの蕎麦打ちとなっています。

最後は、皆でコーヒータイトムです。蕎麦打ちの反省(?)や勉強の事・単位認定試験の事などの情報交換をして終わりました。

(学友会副会長 伊藤 邦子)



新蕎麦の季節に集う学友会会員。



体験を終えてのコーヒータイトム。

次学期へむけての手続き

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。1月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。申請は、①郵送 または ②WEB(システムWAKABA)のどちらか一つの方法にて手続きしてください。

- 申請期間 ①郵送…2月13日(火)～2月27日(火) 大学本部必着
②WEB…2月13日(火) 9:00～2月28日(水) 24:00

※学部生は、放送授業のほか面接授業の科目登録もあわせて行ってください。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。(電話:043-276-5111(総合受付))

※全科履修生が、科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

継続入学出願が必要です。①郵送 または ②WEB(システムWAKABA)のメニュー欄「継続入学申請」のどちらか一つの方法にて出願してください。

- 出願期間 ①郵送…12月1日(金)～3月20日(火) 大学本部必着
※「継続入学用出願票」や一般の出願票使用
②WEB…12月1日(金) 9:00～3月20日(火) 24:00
※WEB出願の場合も、証明書類は3月20日(火) 私書箱必着



※なお、下記にあたる場合は、出願方法や出願時期にご注意ください。

(A) 入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合

必ず2月13日(火)～2月28日(水)(在学生の科目登録期間)に、システムWAKABA「継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業申請後に、面接授業科目を登録申請してください。

※郵送による出願や、上記期間外に出願した場合は、学期当初からの面接授業科目の登録ができません。

(B) 平成29年度第2学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合

出願票裏面の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入して出願してください。その場合は、入学金のみ必要となり、授業料は不要です。

※ただし、平成29年度第2学期単位認定試験に合格した場合は、出願は無効となります。

(C) 過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が、全科履修生として入学希望の場合

「継続入学用出願票」では出願できませんので、「学生募集要項」を取り寄せたうえで、「全科履修生出願票」にて出願してください。

※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されませんので、出願される方は「学生募集要項」を入手のうえ出願してください。

●本部から送付される「平成29年度第2学期末卒業が見込まれる皆さまへ(再入学のご案内)」をご覧ください。

次学期も学籍が続く場合と、今学期で学籍が切れる場合では、手続きが異なります。詳細は本部から送付される再入学のご案内、または「学生生活の葉」P90～93にてご確認ください。

3月末で学籍が切れる方

さらに、卒業が決定した方には…NHKホール「放送大学学位記授与式」出席のススメ

卒業が決定した方には、東京・NHKホールにて挙行の学位記授与式と卒業・修了祝賀パーティの案内が大学本部より送付されます。

「NHK紅白歌合戦」などでおなじみの大ホールに全国の学習センターから卒業生が集結し、学長の祝辞、合唱団による学歌など、ひととき華やかな雰囲気でも執り行われます。

学生生活の晴れ舞台として、または学業に励んできた自分へのご褒美として、NHKホールで卒業を迎えてみませんか。全国の仲間たちと喜びを分かち合しましょう!

★式当日の会場前では、所属センター職員が旗を目印に待機しています。

★大学主催の学校行事であるため、JRの学割証が利用できます。

※詳しい利用条件については、「学生生活の葉」P124～P126で確認するか、青森学習センターへお問い合わせください。



H28年度卒業・修了祝賀パーティにて、岡部前学長とともに

卒業見込みの方

1月・2月・3月・4月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 単位認定試験
 試験
 貸出停止期間
 利用停止期間

1 月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

2 月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28			

3 月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

4 月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

1 月

- 4日(木) 臨時閉所
- 19日(金) 平成29年度第2学期単位認定試験(大学院)《～1/20》
- 21日(日) 平成29年度第2学期単位認定試験(教養学部)《～1/28》
- 26日(金) 単位認定試験期間中閉所日
- 30日(火) 単位認定試験最終日翌々日閉所日

2 月

- 13日(火) 平成30年度第1学期科目登録申請開始
《締切・郵送:2/27、WEB:2/28 24時》
- 27日(火) 平成30年度第1学期科目登録申請締切(郵送)
- 28日(水) 平成30年度第1学期科目登録申請締切(WEB)
平成30年度第1学期第1回出願締切
(教養学部、大学院修士選科・科目生)

- 面接授業■
1日(木)～2日(金) 「宇宙の広がりを知る」(青森)

3 月

- 1日(木) 平成30年度第1学期第2回出願受付開始《～3/20》
(教養学部、大学院修士選科・科目生)
放送教材の室外貸出停止《～3/31》
- 3日(土) 教員免許更新講習 修了認定試験《～3/4》
- 11日(日) 図書の室外貸出停止《～3/31》
- 18日(日) 図書室・視聴学習室の利用停止《～3/31》
- 20日(火) 平成30年度第1学期第2回出願締切
(教養学部、大学院修士選科・科目生)
- 24日(土) 平成29年度放送大学学位授与式(東京・NHKホール)



平成28年度放送大学学位授与式の様子(平成29年3月撮影)

4 月

- 7日(土) 平成29年度第2学期学位授与式・平成30年度第1学期入学者のつどい(青森)
- 8日(日) 平成29年度第2学期学位授与式・平成30年度第1学期入学者のつどい(八戸)
- 14日(土) 平成30年度第1学期面接授業空席発表
追加登録事前申請受付開始《～4/19》
- 20日(金) 平成30年度第1学期面接授業
追加登録先着申請受付開始(～各科目の受付期限まで)

- 面接授業■
14日(土)～15日(日) 「精神に障がいを抱える人の看護」(青森)
21日(土)～22日(日) 「ヨーロッパとは何か:歴史と理念」(青森)

新学期準備に伴う室外貸出停止・利用停止について

放送教材の貸出方法変更と新学期準備のため、下記の期間は放送教材と図書の室外貸出、図書室・視聴学習室の利用を停止します。今学期に貸出された放送教材は、3月8日(木)までにご返却願います。

- 放送教材の室外貸出停止期間: 3月1日(木)～31日(土)
 - 図書の室外貸出停止期間: 3月11日(日)～31日(土)
 - 図書室・視聴学習室の利用停止期間: 3月18日(日)～31日(土)
- ※平成29年度「利用の手引き」記載の貸出停止日程から変更がありました。

入構規制について

1月13日(土)～14日(日)は、弘前大学での大学入試センター試験のため、自動車での入構は一切できません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の呈示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。



事務局からのお知らせ



！重要！ 2018年度より放送教材の視聴方法・貸出方法が変わります

放送大学では、情報通信環境等の変化に対応するため、2018年度より学習センター・サテライトスペースでの放送教材の視聴方法・貸出方法を下記のように変更します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

★ 室内視聴方法の変更

・Wi-Fi (インターネット視聴用回線) を整備し、DVD・CDによる視聴から、インターネット視聴用PC・タブレットによる視聴に順次切り替えていきます。
※青森学習センター・八戸サテライトスペースとも、2018年度より利用可能とする予定で準備を進めております。



・2019年度以降、新規開設科目のDVD・CDの配架は行いません。

※移行期間として、2018年度新規開設科目は、DVD・CDを各1セット配架します。(ただし、大学院科目を除く。)

※2017年度までに開設された科目は、閉講するまでの間はDVD・CD各1セットの配架を続けますので、室内にて視聴できます。

★ 室外貸出方法の変更

・2018年度4月から、放送教材の貸出は、放送大学学園本部で一括して行います。

※2018年度4月以降の申し込み方法(郵送・ファクス・WEB)等の詳細については、後日お知らせします。

・貸出方法変更の準備のため、学習センター・サテライトスペースでの貸出は、2月28日(水)貸出分をもって終了します。3月1日(木)以降は、放送教材の室外貸出(来所、郵送とも)を行いません。

※2月28日(水)までに貸出を受けた放送教材は、すべて3月8日(木)までにご返却願います。

★ あおもり校・むつ校について

・あおもり校・むつ校の再視聴施設については、当面は従来どおりの利用方法となります。

各種証明書の発行について (詳細「学生生活の栞」教養学部版p100、大学院版p85参照)

証明書の発行を希望の際は、「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料(1通につき200円)を添えてお申込みください。なお、証明書の種類によっては、発行まで2週間程度を要する場合があります。

★ 郵送で申し込む場合 ★

下記の3点を青森学習センターへ送付してください。

- ①『諸証明書交付願』
- ②発行手数料分の郵便定額小為替証書(1通につき200円)
- ③返信用封筒(長形3号、切手貼付、宛名明記)

証明書の部数や種類によって重量が異なりますので、返信用封筒に貼付する切手は92円以上をおすすめします。

※諸証明書発行については、「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

2018年度第1学期入学生募集【出願期間:12/1(金)～3/20(火)】

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集!

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介します。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの方が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…?もちろん、継続入学生も大歓迎です!

資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。

あなたのまわりに
「学びたい人」、
いませんか?



働きながら
大学卒業したい

スキルアップに
役立てたい



好きな分野を
好きにだけ

放送大学でともに学ぼう!

青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 八戸地域地場産業振興センター(ユートリー4階)

TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400 (※視聴・貸出のみ対応)

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)

TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400 (※視聴・貸出のみ対応)

放送大学ホームページ

<http://www.ouj.ac.jp/>

